

## 平成26年度 落合中学校生徒会 平和アピール

私たちは、今年もさまざまな平和への取り組みを行ってきました。身近な平和に目を向けた「人権標語」では、みんなが幸せに生きるために大切なことを、たくさんの言葉で表現できました。また執行部は今年も落合中の代表として慰霊祭に参加し、平和について学習してきました。

しかし、こうして平和について学んでもアンケートの結果をみると、55%の人しか原爆投下の日時を答えられませんでした。約半分の人たちがヒロシマの学生として知っていて当然のことを知らなかったのはとても残念な事だと思います。今日、8月6日をしっかりと胸に刻み意味のある日にしなくてははいけません。

人類史上で始めて原子爆弾が落とされたヒロシマ。あれから69年。私たちは被爆体験を直接聞ける最後の世代です。自分たちが継承しなければ、平和を願う心も薄らいでくるとは思いませんか。

平和の取り組みで行ったアンケートの中で、「落合中学校は平和ですか？」とたずねました。過半数の人は「平和ではない」と答えました。いじめがあるから、制服が乱れている人や廊下を走っている人がいるからなどの解答がありました。

しかし、「平和ではない」と考えた人の理由を見過ぎすわけにはいきません。いじめがやまないから、暴力や暴言が多いから、みんなが楽しく学校生活を送れているか分からないから、授業を妨害する人がいるから、みそあじを守れていない人もいるからなど、みんな具体的な理由を述べてくれました。

さらに、「落合中の平和のために何ができるか」とたずねたら、ほぼ全員が具体的な解答をくれました。みんな仲良くする、みそあじや校則を守って生活する、いじめやけんかをなくす、困っている人に進んで声をかける、いつも笑顔でいる。

どれも大切なことではありますが、それを書くだけで心の中で思っているだけになっていないでしょうか。少しでも誰かが行動したり、言葉に出さない限りは何も変化しません。この2つの事をしなければ落合中学校の生徒、先生の全員が平和だとは言えないのではないでしょうか。

アンケートの解答にふざけたことを書いていたり、日時をわざと間違えて書いていたり、真剣にアンケートに協力してくれなかった人がいたのでとても残念でした。

アンケートをまとめた私たち執行部で、「みんなのできること」「いっしょにできること」を5個にしぼって提案します。これから述べる「平和」を築くための行動を、「みんなとなら一緒にできる！」と思えた人はその場に立って、第一歩の行動を起こして下さい。お願いします。

- 一つ。みそあじを守る。
- 二つ。いじめ・ひやかしをしない。
- 三つ。うざい・きもい・しねを言わない。
- 四つ。思いやりの心を持つ。
- 五つ。いつも笑顔で過ごす。

「みんなとならいっしょにできる。努力してみる」と思えた人は、ぜひその場に立ってみてください。（座ってください）

新学期が始まってからいじめについてのエッセーを聞き、いじめられた人の悲しみやいじめられた人の気持ちを考える事もできました。

今年の5か条は、「1人1人を大切にし、当たり前のことを当たり前にする」そう思ってまとめました。どれも落合中学校にいる生徒と先生、一人一人の思いであり、平和を築くため、イジメをなくすための大事な行動です。ここにいるみんなと一緒に取り組んでいきましょう。

平成26年8月6日 広島市立落合中学校  
生徒会